

# 愛知県(県域)

## 1 産地の概要

<対象品目> シクラメン

<産地の現状・課題>

愛知県は長野県に次ぐ全国2位のシクラメン生産県であり年間1,690千鉢を出荷している(農水省作物統計令和3年産花き生産出荷統計)。しかし、シクラメンは植物体全体が商品であるため防除圧は野菜に比べ大きく、化学農薬による環境負荷が高い品目であると共に、農薬による防除作業が生産者の大きな負担になっている。

特にヤガ類やアザミウマ類はシクラメンの重要虫害であり、近年は薬剤抵抗性が発達し、防除が難しくなっていることや環境負荷軽減の観点からも化学農薬に依存しない防除手段が求められている。

## 2 検討体制

<愛知県組織と関係機関等の役割>

- 農業経営課(事務局)
- 農業革新支援センター(事業のコーディネート、技術指導、栽培マニュアルと産地戦略の作成)
- 普及指導センター(実証ほの運営管理、調査、技術指導、栽培マニュアルと産地戦略の検討)
- 農業総合試験場園芸研究部(試験方法に関する助言)
- JAあいち経済連(技術支援、検討会の参加)
- JA(農業者との調整、調査補助)
- 農業者(実証ほ管理、技術の検証)

## 3 グリーンな栽培体系

<環境にやさしい栽培技術>

取組項目	作業段階	新たに取り入れる技術
化学農薬使用量の低減	病虫害管理	<取り入れる技術> 緑色及び赤色LED灯を活用した光による物理的防除 フェロモン及び粘着トラップによる発生予察
		<見込まれる効果> 化学農薬使用量の低減

<省力化に資する技術>

作業段階	新たに取り入れる技術
化学農薬使用量の低減	<取り入れる技術> 緑色及び赤色LED灯を活用した光による物理的防除 フェロモン及び粘着トラップによる発生予察
	<見込まれる効果> 化学農薬使用回数の低減

## 4 活動内容(予定)

<活動内容>

- 緑色LED照射によるヤガ類防除効果及びフェロモントラップによる発生予察の実証ほ場を設置
- 赤色LED照射によるアザミウマ類防除効果及び粘着トラップによる発生予察の実証ほを設置し、防除効果、化学農薬散布回数低減効果及びシクラメンの生育・開花に及ぼす影響を確認
- マニュアル案及び産地戦略の策定の検討、農業者等への情報発信